

授業科目名 <英訳>		ヘルスサイエンス研究の進め方 Methods of Health Science Research			担当者所属・職名・氏名		医学研究科 教授 中山 健夫 医学研究科 教授 小泉 昭夫 非常勤講師 宮崎 貴久子 スタットコム株式会社 植谷 可恵				
配当学年	専門職	単位数	1	開講年度・開講期	2015・前期	曜時限	金3,4 開講日注意	授業形態	講義	使用言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
<ul style="list-style-type: none"> ・医療・ヘルスサイエンス研究を進めるにあたって必要な、明確で正確なコミュニケーションの基本的知識を学びます。 ・研究者として「知らなかった」ではすまされない研究と出版の倫理について学びます。 ・研究成果公表にあたって分かりやすい、科学的・論理的な文章、図表、スライドやポスターの作成法を学びます。 											
[到達目標]											
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスサイエンス研究をする意味への理解を深める。 ・研究者として遵守すべき研究と出版の倫理について理解する。 ・研究を進めるにあたって必要な学会発表、論文出版の進め方、助成金申請の準備について基本的な手順を理解する。 ・研究成果を公表するにあたって必要な科学的な文章作成方法と、一般的な文章表現方法の違いを理解する。 											
[授業計画と内容]											
第1回 6月5日 3限ヘルスサイエンス研究の歴史と意義 (中山・宮崎) 第2回 6月5日 4限研究と出版の倫理I (宮崎) 第3回 6月12日 3限研究と出版の倫理II (宮崎) 第4回 6月12日 4限京都大学における医学研究の歴史 (小泉) 第5回 6月26日 3限論理的な文章作成法：効果的・効率的な書き方 (宮崎) 第6回 6月26日 4限論理的な文章作成法：パラグラフ構造、(植谷) 第7回 7月3日 3限論文と抄録の書き方、表とグラフでのデータ表示法 (宮崎) 第8回 7月3日 4限ポスターとスライド発表、助成申請と研究計画書 (宮崎)											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
授業への積極的な参加・発言 (60%) レポート (40%)											
ヘルスサイエンス研究の進め方 (2)へ続く↓↓↓											

ヘルスサイエンス研究の進め方 (2)

[教科書]

特になし

[参考書等]

(参考書)

Thomas Lang 『トム・ラングの医学論文「執筆・出版・発表」実践ガイド』（シナジー）
Thomas Lang 『わかりやすい医学統計の報告：医学論文作成のためのガイドライン』（中山書店）
中山健夫 ほか 『臨床研究と疫学研究のための国際ルール集』（ライフサイエンス社）
購入は必須ではありません。

[授業外学習（予習・復習）等]

- ・ 各回授業につき1時間程度。
- ・ 第一回の授業前に、ICMJE Recommendationsを読んでください。
(<http://www.jcmje.org/recommendations/>)

(その他（オフィスアワー等）)

- ・ 授業中は自分の表現で意見表明できるように常に考えていてください。
- ・ 開講日と時限に注意してください。

人間健康科学系専攻学生の受講可否：可ですが、授業中のディスカッションに参加することを認識しておいてください。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。